

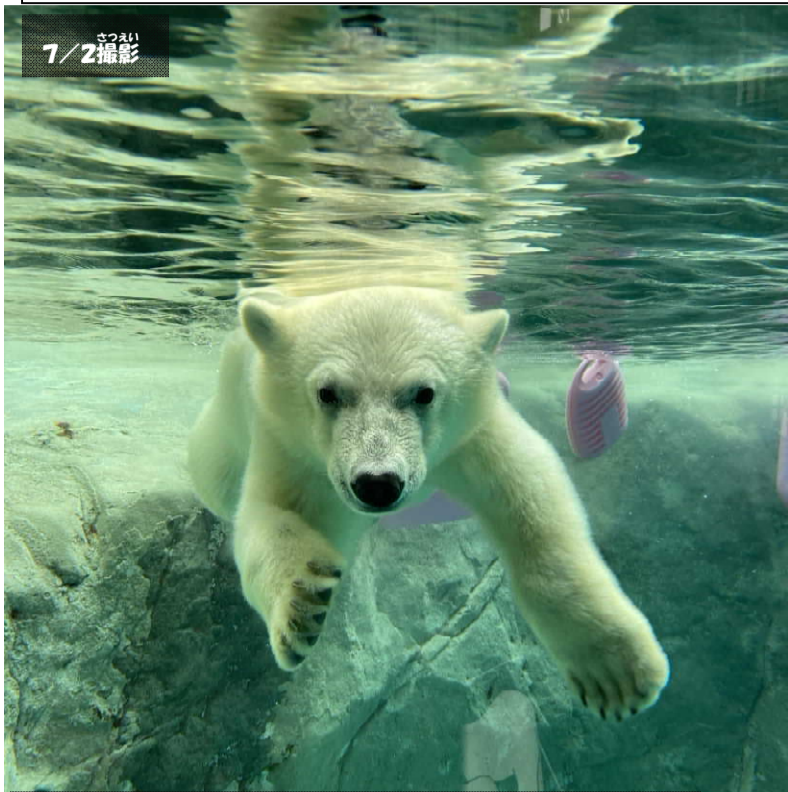


【夏期開園期間】4/29(祝)~11/3(祝)【開園時間】10/15(土)までは午前9:30~午後5:15(最終入園は午後4:00まで)、10/16(日)~11/3(祝)までは午前9:30~午後4:30(最終入園は午後4:00まで)

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104



昨年12/10に生まれた ホッキョクグマの子どもの 愛称は「ゆめ」に決まりました!

7/2、昨年12/10に生まれたホッキョクグマの子の命名式がおこなわれました。公募期間内(6/1~12)に応募いただいた1547通の中から愛称として決まったのは東川町在住の日塔さんの「ゆめ」。「40年ぶりに繁殖したみんなの夢、元気に泳ぐぐまがまるでみんなの夢を表現した姿だなと思ったことから」というのが日塔さんの命名理由です。



命名式での記念撮影の様子

夏毛の様子は今のうちにチェックです!



園内の動物たちも夏仕様です。長く密集して生える冬毛が抜け、短い夏毛が生えてきています。周りの景色にとけこむ毛色になっているのは、ホッキョクグマやエゾシカ、エゾユキウサギなど。モフモフの冬毛が抜けほっそりとして見えるのはエゾタヌキやシンリンオオカミ、マヌルネコなど。ぜひ夏毛をチェックして、秋・冬に再観察してみてください!



オスとメスが交代で抱卵。 ダチョウのヒナが3羽、 生まれました!

5/27に、ダチョウが一羽孵化し、6/7と6/9にもそれぞれ一羽ずつ卵から孵化しました。ダチョウはオスとメスが交代で抱卵し、卵をあたためます。抱卵期間は約42日で、重さ1.4kgぐらいの卵から体重1kgぐらいでヒナが生まれてきました。旭山動物園では、ダチョウの自然繁殖は初めてのことです。ヒナは約1年で親と同じぐらいまでに成長します。ヒナの成長の様子をぜひ観察しに来てくださいね!

子どもも生まれ にぎやかな夏。 夏毛の様子も 要チェック!

「とりの村」ではマガモ、カルガモ、キンクロハジロ、「かば籠」ではダチョウのヒナが生まれたほか、チンパンジーやレッサーパンダの子どもも誕生。今年の夏は、子の成長、夏毛の様子などチェックすることが盛りだくさん!



7/5、シセンレッサーパンダの湊湊(ユューユ)が2頭の子を出産しました。湊湊の出産は2020年の蓮蓮(レンレン)・桜桜(リンリン)以来2年ぶり、オスの「プーアル」との繁殖は2回目となります。生まれた子どもはしばらくのあいだ寝室で過ごします。放飼場デビューは、子どもの成長状況にもよりますが、秋を予定しています。

シセンレッサーパンダの 「湊湊(ユューユ)」が出産しました!



チンパンジーの6/22 「フルト」が出産しました

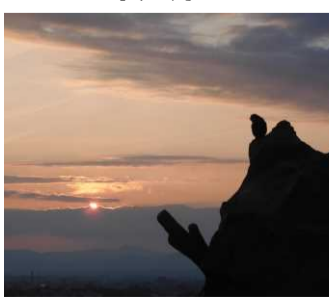
6/22、チンパンジーの「フルト」が出産しました。「フルト」にとっては7年ぶりの出産となります。「フルト」は子どもをしっかりと抱きかかえ、子育てをしています。「フルト」の子育て、群れで生活するチンパンジーの子どもの様子をじっくり観察してみてくださいね。チンパンジーの社会が見えてきますよ。

ミヤマクワガタ(写真)やコクワガタ、ヘラクレスオオカブトなどを展示する夏休み向けのミニ企画展が「第2こども牧場」・プタの放飼場横の建物内で開催中!
クワガタ・カブトムシ展



2022年の「夜の動物園」は 8/10(水)~16(火)です!

今年の夜の動物園は、夜の動物を観察するナイトウォッチングガイドといったイベントなど、3年前と同じぐらいの内容で実施できそうです。詳細は公式ホームページなどでご確認ください。



生きものを観察することで、強さや弱さに気づかれます。園内各所を観察していると、夏毛や繁殖期のことにはもちろん、いろんなことに気づかれます。鳥類のヒナの成長は哺乳類の子の成長より早いこと。捕食される側ほど多くの卵や子どもを産む傾向(より多くの子孫を残すため)にあり成長が早いこと。ほかにも自分の身を守るために備わっている能力や体のつくり、棲んでいる場所・環境によって生き方が違うことなど...。生きものを観察することでいろいろなことを勉強させてもらえますよ。